



2008年8月22日

各 位

会 社 名 イオン北海道 株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 植村 忠規
 (コード番号 7512 東証1部・札証)
 問 合 せ 先 取締役執行役員
 経営管理本部長 天廣 俊彦
 (TEL 011-865-9405)
 当社の親会社 イオン株式会社
 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号 8267 東証1部)

特別損益の計上および2009年2月期業績予想の修正に関するお知らせ

2008年4月7日の決算発表時に公表した2009年2月中間期(2008年3月1日~2008年8月31日)および2009年2月期(2008年3月1日~2009年2月28日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 2009年2月期中間連結業績予想数値の修正(2008年3月1日~2008年8月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	83,180	1,590	1,010	3,840
今回発表予想(B)	80,560	441	29	1,381
増減額(B-A)	2,620	1,149	981	5,221
増減率(%)	3.1	72.3	97.1	
(ご参考)前年同期実績	56,091	615	122	2,166

(2) 2009年2月期通期連結業績予想数値(2008年3月1日~2009年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	167,900	4,000	2,820	3,850
今回発表予想(B)	163,000	2,300	1,400	2,300
増減額(B-A)	4,900	1,700	1,420	1,550
増減率(%)	2.9	42.5	50.4	40.3
(ご参考)前年同期実績	147,594	2,362	1,383	3,585

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 2009年2月期中間個別業績予想数値の修正(2008年3月1日～2008年8月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	83,180	1,320	1,000	3,835
今回発表予想(B)	80,560	171	19	1,386
増減額(B-A)	2,620	1,149	981	5,221
増減率(%)	3.1	87.0	98.1	
(ご参考)前年同期実績	56,091	344	110	2,160

(2) 2009年2月期通期個別業績予想数値(2008年3月1日～2009年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	167,900	3,540	2,800	3,840
今回発表予想(B)	163,000	1,900	1,400	2,290
増減額(B-A)	4,900	1,640	1,400	1,550
増減率(%)	2.9	46.3	50.0	40.4
(ご参考)前年同期実績	147,594	1,863	1,354	3,568

3. 特別損益の計上および業績予想修正の理由

当上半期におきましては、原油・原材料価格の高騰による物価上昇から生じる生活防衛意識の高まりにより、売上高は4月7日に公表いたしました予想数値を3%程度下回る見込みです。

特に利益率の高い衣料部門の不振が続いており、これに伴う荒利益率の計画数値未達もあり、営業総利益は大幅に減少。これを経費削減等で吸収できず、営業利益は連結で441百万円、個別で171百万円となる見込みです。また経常利益は連結で29百万円、個別で19百万円となる見込みです。

さらに、当初、第4四半期に予定しておりましたイオン共通システムへの入替を、変革のスピードをあげるため前倒して実施することにより、下半期計上を予定しておりました特別損失1,631百万円を今上半期に計上いたします。また、小樽ベイシティ開発株式会社に対する別除権付債権弁済に関して、同社の申し入れにより2008年7月18日付にて弁済期限を2008年11月末日まで延長しておりますが、当上半期末日までに弁済されず、9月以降となることが確実になったため、当該弁済に関する特別利益は当初の上半期計上予定から下半期での計上に変更することになりました。

このため、当期純利益につきましては、連結で1,381百万円の損失、個別で1,386百万円の損失となる見込みです。

なお、下半期においてはシステム一元化による事業基盤のもと、ローコストオペレーションの徹底、荒利益率の改善を図り、加えてテナント収益力の強化にも取り組みます。しかしながら、消費環境は依然厳しさが続く予想しており、特別損益の計上期の変更もあり、連結、個別共に通期の業績予想を修正いたします。

なお、当社の親会社であるイオン株式会社が4月7日に開示しました連結業績予想には変更はありません。

上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上